

一般財団法人新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院  
令和7年度第6回遺伝子倫理委員会議事要旨

日時：令和8年3月3日（火）午後4時7分から午後4時12分まで

場所：魚沼基幹病院 小会議室1・2

出席者：11名

飯野則昭（委員長）、高田俊範、須田剛士、加嶋克則、寺島健史、高橋みはる、  
関口陽子、星野靖、関一弥

羽吹 正（院外）、堀澤 淳（院外）

欠席者：1名 吉澤初記

成立要件 すべて満たし成立

1. 審議事項

新規申請なし

2. がんゲノム医療連携病院の指定について

- 現在、令和8年度にがんゲノム医療連携病院の指定を受けるため、準備を進めている。指定にあたり、当院の体制を整備する必要があることがゲノム医療WG須田先生より報告された。
- 上記指定の要件として、「がん遺伝子パネル検査の二次的所見として生殖細胞系列変異が同定された場合の対応方針」について定めておくことが求められているため、新潟大学がんゲノム医療センターの対応方針に準じて作成した当院案が報告された。
- 現在、ゲノム医療WGで検討されたゲノム医療に関連するワークフローが運用されているが、がんゲノム医療連携病院となると見直しが必要となる。院内の組織として新たに委員会を設置し、倫理的課題も含め議論していくことが確認された。

以上